

山本岳洋 (兵庫県立大学), Zhicheng Dou (Renmin University of China), Charles Clarke (University of Waterloo, Canada), 神門典子 (NII), 加藤誠 (筑波大学), Yiqun Liu (Tsinghua University, China), 石下円香 (NII)

どんな研究？

情報検索の新たな研究課題に、研究基盤を提供して研究を促進し、**未来価値の創成をめざします**

- * 研究の**スピードアップ** & **相互に学び合います**
- * グランドチャレンジに**基盤とマイルストーン**を提供
- * よりよい検索システムを実現するために、**研究コミュニティの形成**を支援しています。

何がわかる？

NTCIR-16では、20カ国の82の研究チームと一緒に、情報検索をよりよくするために、(1)複雑な検索意図に応える手法、(2)ユーザの検索行動データをマイニングする手法、(3) (2)の(1)への応用の最新の課題について、**集中的に研究し、その有効性を検証するために、実験データセットの構築、比較評価、テスト手法の研究**をしています。

状況設定



NII Testbeds and Community for Information access Research
情報アクセス技術の評価と性能比較のための研究基盤NTCIR

- 目的：新たな情報アクセス研究の課題を開拓し、大規模な評価実験用研究基盤を提供することにより、研究を促進・展開、未来価値を創成
- 基盤：データ（ツール、モジュール）、評価手法、コミュニティ
- システム間の性能比較、手法特性の比較、技術移転、連携、互いに学び合う場

1997年末にプロジェクト開始！

1年半を1サイクルとして活動

- NTCIR-16カンファレンス：2022年6月14～17日 利用中：5098団体

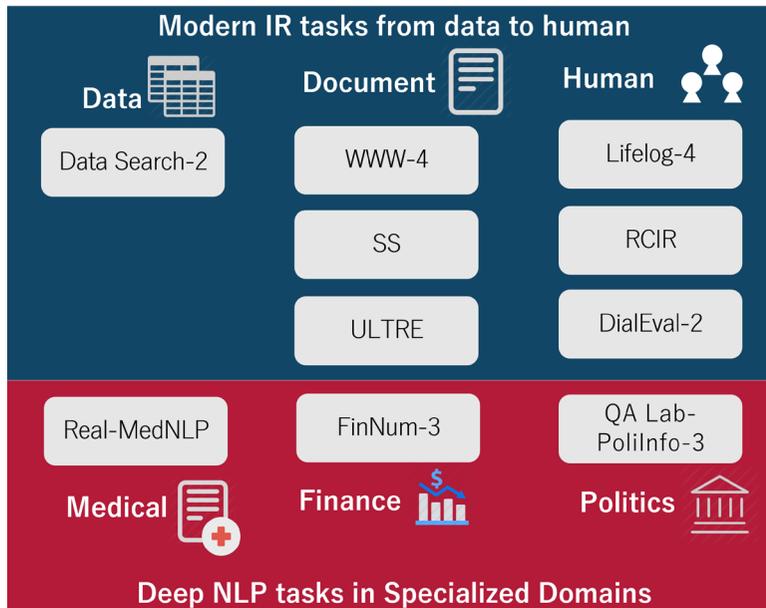
再利用可能な大規模データセット（テストコレクション）

- 学術、新聞、特許、Web、コミュニティQA、音声、Wikipedia、入試、医療、数式、ライフログ、クエリログ、マイクロブログ(Twitter)、…
- カンファレンス後に参加者以外の研究者にも公開

研究内容

NTCIR-16 tasks

研究分野：情報検索・質問応答・対話技術・自動検出・機械学習など



対象文書：
大規模統計データ
ヘルプデスク対話
財務情報
ライフログデータ
地方議会会議録
医療文書
Webデータ など

NTCIR-16カンファレンス
参加者募集中！
<https://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-16/conference-ja.html>